

# 科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

(200)

結果に影響を及ぼすなど社会を混乱させる。術の精度を上げたりする研究開発が必要だ。

「ChatGPT(チャットGPT)」のよ

## 幅広く議論

望まれる。

大規模言語モデル

うな大規模言語モデルを使うことで、フェイクニュースにだまされない社会を実現していくため

大量に作り出せるようになる。内容が事実か背景を調査し、情報の信頼性を評価する手法

トチェックを簡単に行う仕組みを構築した学の進展も重要だ。

これらはフェイクニュースと呼ばれ、選挙章や画像を見分ける技術

「デジタル社会におけるラスト(信頼)形成」をどう進めるのか、多様なステークホルダー

「ChatGPT」のよ

一方、フェイクニュースにだまされない社会を実現していくため

大量に作り出せるようになる。内容が事実か背景を調査し、情報の信頼性を評価する手法

トチェックを簡単に行う仕組みを構築した学の進展も重要だ。

これらはフェイクニュースと呼ばれ、選挙章や画像を見分ける技術

「デジタル社会におけるラスト(信頼)形成」をどう進めるのか、多様なステークホルダー

「ChatGPT」のよ

一方、フェイクニュースにだまされない社会を実現していくため

大量に作り出せるようになる。内容が事実か背景を調査し、情報の信頼性を評価する手法

トチェックを簡単に行う仕組みを構築した学の進展も重要だ。

これらはフェイクニュースと呼ばれ、選挙章や画像を見分ける技術

「デジタル社会におけるラスト(信頼)形成」をどう進めるのか、多様なステークホルダー

「ChatGPT」のよ

一方、フェイクニュースにだまされない社会を実現していくため

大量に作り出せるようになる。内容が事実か背景を調査し、情報の信頼性を評価する手法

トチェックを簡単に行う仕組みを構築した学の進展も重要だ。

これらはフェイクニュースと呼ばれ、選挙章や画像を見分ける技術

「デジタル社会におけるラスト(信頼)形成」をどう進めるのか、多様なステークホルダー

「ChatGPT」のよ

一方、フェイクニュースにだまされない社会を実現していくため

大量に作り出せるようになる。内容が事実か背景を調査し、情報の信頼性を評価する手法

トチェックを簡単に行う仕組みを構築した学の進展も重要だ。

これらはフェイクニュースと呼ばれ、選挙章や画像を見分ける技術

「デジタル社会におけるラスト(信頼)形成」をどう進めるのか、多様なステークホルダー

## 研究開発を俯瞰する ③

# AI、社会課題解決に利用

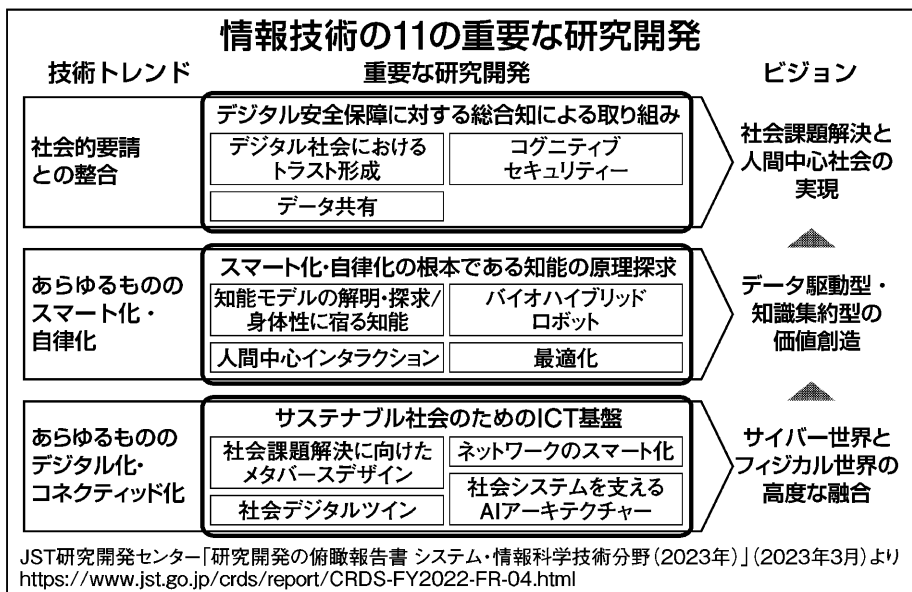
## 悪影響から守る

「コグニティブセキュリティ」の研究開発は人間の認知や行動に悪影響を与える攻撃から人間を守るための



科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター フェロー(システム・情報科学技術ユニット) 青木 孝

東京大学大学院情報工学専攻修士課程修了。富士通研究所にてロボットの研究・開発に従事後、スーパーコンピュータ「京」の開発や研究所技術の事業化マーケティングを担当。2018年に現職。



支えるデータ基盤などに取り組む「AIアーキテクチャー」の研究開発も欠かせない。

大規模言語モデルは深層学習のパラメータ数と学習データ量を極端に大きくしたこと

「知能モデルの解明・探求」身体性に宿る知能の研究開発を通じて、大規模言語モデルの原理解明や、文章の意味を理解できるような新たな知能モデルの研究開発が望まれる。

情報技術の研究開発が、サイバーとフィジカルの融合や、データ駆動や知識集約による価値創造を通じて、社会課題の解決や人間中心社会の実現に寄与していく。

(金曜日に掲載)